

## 第8回 一関地区広域行政組合

### 一般廃棄物最終処分場整備候補地選定委員会

日時 令和元年9月4日（水）

午前9時20分～午前10時20分

場所 サン・アビリティーズ一関研修室

### 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1) 現地調査対象候補地の決定について

(2) その他

4 そ の 他

5 閉 会

一般廃棄物最終処分場整備候補地選定委員会委員名簿

No.	役職	シ 氏 メイ 名	備考	専門分野等
1	委員長	ナカザワ ヒロシ 中澤 廣	工学博士 (岩手大学名誉教授)	廃棄物処理工学
2	副委員長	チバ ケイコ 千葉 啓子	医学博士 (岩手県立大学盛岡短期大学部名誉教授)	環境影響評価
3	委員	アズマ アツキ 東 淳樹	農学博士 (岩手大学農学部)	動物生態学
4	委員	オオカワラ マサフミ 大河原 正文	工学博士 (岩手大学理工学部)	地盤工学
5	委員	サッタ ナオヤ 颯田 尚哉	工学博士 (岩手大学農学部)	環境・放射能
6	委員	ヒラツカ アキラ 平塚 明	理学博士 (岩手県立大学名誉教授)	植物生態学
7	委員	ヤマモト ヒロシ 山本 博	(元県南広域振興局副局長)	行政有識者

## 最終処分場候補地選定の手順と考え方

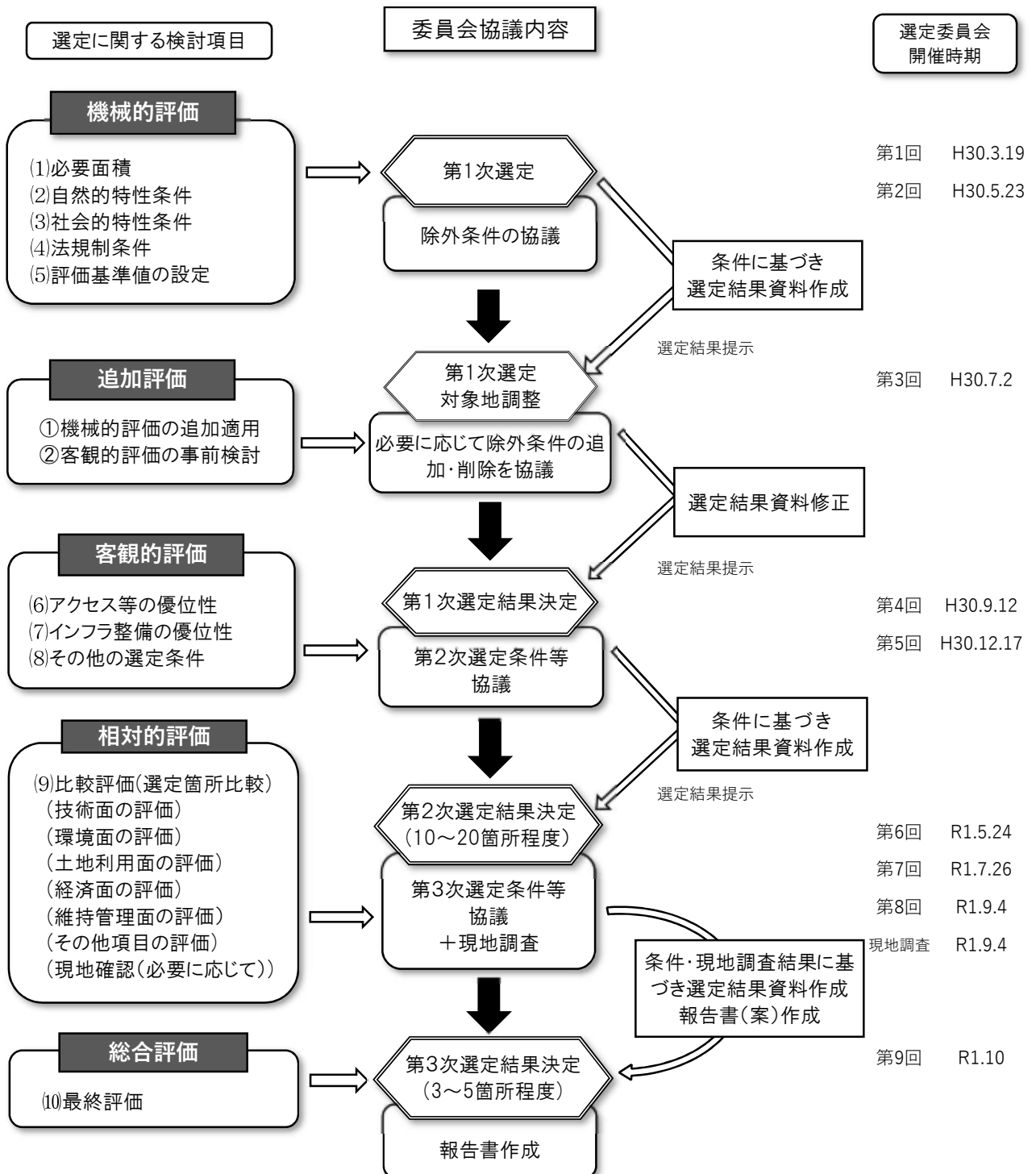
- 委員会による候補地選定の手順は下図による。
- 検討は、以下の考え方にに基づき、3段階で進める。

第1次選定：必要面積等から整備可能地域の条件を設定し、法的規制や災害の影響など、不適切と考えられる地域を除外し、残った範囲から条件に適合する地域を抽出する。

第2次選定：候補地を、アクセス性やインフラ整備の優位性、人口分布等の諸条件により、更に絞り込む。

第3次選定：技術、環境、経済面などを総合的に評価して、合理的な箇所を複数選定する。

### 候補地選定フロー



新最終処分場第3次選定評価①評価結果表

候補地No.	第2次選定比較評価		第3次選定評価①					合計	総計
			技術面の評価	土地利用面の評価	経済面の評価	土地権利面の評価	その他考慮すべき事項		
			(×1.0)	(×0.5)	(×1.5)	(×1.5)	(×0.5)		
75	57	点数	除外					除外	除外
		コメント	・容量確保不可 (最大確保容量50,000㎡)						
159	59	点数	△ 1 × 1.0 = △ 1.0	△ 1 × 0.5 = △ 0.5	1 × 1.5 = 1.5	2 × 1.5 = 3.0	△ 1 × 0.5 = △ 0.5	2.5	61.5
		コメント	・地層の状態: ○ ・盛土流用: × ・湧水・表流水: △ ・微地形の変状など: ×	・埋立段数: 4段	・造成面積: 38,300㎡ ・取付道路延長: 1,650m ・放流河川までの距離: 90m	・所有者数: 2人	・放流先河川に漁業権あり		
252	55	点数	0 × 1.0 = 0.0	2 × 0.5 = 1.0	△ 2 × 1.5 = △ 3.0	0 × 1.5 = 0.0	0 × 0.5 = 0.0	△ 2.0	53.0
		コメント	・地層の状態: × ・盛土流用: △ ・湧水・表流水: △ ・微地形の変状など: △	・埋立段数: 1段	・造成面積: 71,000㎡ ・取付道路延長: 160m ・放流河川までの距離: 640m	・所有者数: 14人			
276	57	点数	1 × 1.0 = 1.0	1 × 0.5 = 0.5	0 × 1.5 = 0.0	1 × 1.5 = 1.5	0 × 0.5 = 0.0	3.0	60.0
		コメント	・地層の状態: △ ・盛土流用: △ ・湧水・表流水: △ ・微地形の変状など: △	・埋立段数: 2段	・造成面積: 67,000㎡ ・取付道路延長: 70m ・放流河川までの距離: 40m	・所有者数: 6人 ・遠隔地在住の所有者数: 2人			
320	55	点数	除外					除外	除外
		コメント	・容量確保不可 (最大確保容量120,000㎡)						
323	55	点数	-	0 × 0.5 = 0.0	1 × 1.5 = 1.5	0 × 1.5 = 0.0	除外	除外	除外
		コメント		・埋立段数: 3段	・造成面積: 55,700㎡ ・取付道路改良不要 ・放流河川までの距離: 60m	・所有者数: 13人 ・遠隔地在住の所有者数: 1人	・頭首工あり		
332	59	点数	0 × 1.0 = 0.0	1 × 0.5 = 0.5	1 × 1.5 = 1.5	△ 1 × 1.5 = △ 1.5	0 × 0.5 = 0.0	0.5	59.5
		コメント	・地層の状態: △ ・盛土流用: △ ・湧水・表流水: △ ・微地形の変状など: ×	・埋立段数: 2段	・造成面積: 43,900㎡ ・取付道路改良不要 ・放流河川までの距離: 70m	・所有者数: 58人 ・遠隔地在住の所有者数: 2人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数: 51人			
386	55	点数	除外					除外	除外
		コメント	・容量確保不可 (最大確保容量140,000㎡)						
392	55	点数	△ 2 × 1.0 = △ 2.0	1 × 0.5 = 0.5	0 × 1.5 = 0.0	0 × 1.5 = 0.0	0 × 0.5 = 0.0	△ 1.5	53.5
		コメント	・地層の状態: ○ ・盛土流用: × ・湧水・表流水: × ・微地形の変状など: ×	・埋立段数: 2段	・造成面積: 45,800㎡ ・取付道路改良不要 ・放流河川までの距離: 940m	・所有者数: 21人 ・遠隔地在住の所有者数: 1人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数: 10人			

候補地No.	第2次 選定 比較評価	第3次選定評価①						合計	総計
		技術面の評価	土地利用面の評価	経済面の評価	土地権利面の評価	その他考慮すべき事項			
							(×1.0)		
472	57	点数	$\Delta 2 \times 1.0 = \Delta 2.0$	$1 \times 0.5 = 0.5$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$\Delta 1 \times 1.5 = \Delta 1.5$	$0 \times 0.5 = 0.0$	$\Delta 3.0$	54.0
		コメント	・地層の状態：○ ・盛土流用：× ・湧水・表流水：× ・微地形の変状など：×	・埋立段数：2段	・造成面積：61,000㎡ ・取付道路延長：160m ・放流河川までの距離：260m	・所有者数：49人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数：44人			
506	55	点数	$\Delta 1 \times 1.0 = \Delta 1.0$	$2 \times 0.5 = 1.0$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	0.0	55.0
		コメント	・地層の状態：○ ・盛土流用：× ・湧水・表流水：× ・微地形の変状など：△	・埋立段数：1段	・造成面積：53,900㎡ ・取付道路改良不要 ・放流河川までの距離：480m	・所有者数：16人 ・遠隔地在住の所有者数：1名 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数：9人			
510	57	点数	$0 \times 1.0 = 0.0$	$1 \times 0.5 = 0.5$	$\Delta 2 \times 1.5 = \Delta 3.0$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	$\Delta 2.5$	54.5
		コメント	・地層の状態：○ ・盛土流用：× ・湧水・表流水：△ ・微地形の変状など：△	・埋立段数：2段	・造成面積：65,300㎡ ・取付道路延長：750m ・放流河川までの距離：490m	・所有者数：13人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数：4人			
512	57	点数	$\Delta 1 \times 1.0 = \Delta 1.0$	$1 \times 0.5 = 0.5$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$2 \times 1.5 = 3.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	2.5	59.5
		コメント	・地層の状態：○ ・盛土流用：× ・湧水・表流水：△ ・微地形の変状など：△	・埋立段数：2段	・造成面積：68,700㎡ ・取付道路延長：230m ・放流河川までの距離：30m	・所有者数：3人			
534	55	点数	$\Delta 2 \times 1.0 = \Delta 2.0$	$2 \times 0.5 = 1.0$	$\Delta 1 \times 1.5 = \Delta 1.5$	$\Delta 1 \times 1.5 = \Delta 1.5$	$0 \times 0.5 = 0.0$	$\Delta 4.0$	51.0
		コメント	・地層の状態：△ ・盛土流用：× ・湧水・表流水：× ・微地形の変状など：×	・埋立段数：1段	・造成面積：64,500㎡ ・取付道路改良不要 ・放流河川までの距離：980m	・所有者数：124人 ・遠隔地在住の所有者数：1人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数：115人			
536	57	点数	除外					除外	除外
		コメント	・容量確保不可 (最大確保容量36,000㎡)						
548	57	点数	$\Delta 1 \times 1.0 = \Delta 1.0$	$2 \times 0.5 = 1.0$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	0.0	57.0
		コメント	・地層の状態：△ ・盛土流用：× ・湧水・表流水：△ ・微地形の変状など：×	・埋立段数：1段	・造成面積：55,300㎡ ・取付道路延長：300m ・放流河川までの距離：290m	・所有者数：11人 ・遠隔地在住の所有者数：1人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数：3人			
562	55	点数	$\Delta 1 \times 1.0 = \Delta 1.0$	$\Delta 2 \times 0.5 = \Delta 1.0$	$2 \times 1.5 = 3.0$	$1 \times 1.5 = 1.5$	$0 \times 0.5 = 0.0$	2.5	57.5
		コメント	・地層の状態：○ ・盛土流用：× ・湧水・表流水：× ・微地形の変状など：△	・埋立段数：5段	・造成面積：38,000㎡ ・取付道路改良不要 ・放流河川までの距離：240m	・所有者数：10人			
572	55	点数	$\Delta 1 \times 1.0 = \Delta 1.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	$1 \times 1.5 = 1.5$	$0 \times 1.5 = 0.0$	$\Delta 1 \times 0.5 = \Delta 0.5$	0.0	55.0
		コメント	・地層の状態：△ ・盛土流用：× ・湧水・表流水：× ・微地形の変状など：△	・埋立段数：3段	・造成面積：43,900㎡ ・取付道路改良不要 ・放流河川までの距離：60m	・所有者数：18人 ・遠隔地在住の所有者数：1人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数：10人	・近隣に神社あり		
607	55	点数	$\Delta 2 \times 1.0 = \Delta 2.0$	$2 \times 0.5 = 1.0$	$\Delta 1 \times 1.5 = \Delta 1.5$	$\Delta 2 \times 1.5 = \Delta 3.0$	$0 \times 0.5 = 0.0$	$\Delta 5.5$	49.5
		コメント	・地層の状態：○ ・盛土流用：× ・湧水・表流水：× ・微地形の変状など：×	・埋立段数：1段	・造成面積：56,500㎡ ・取付道路延長：340m ・放流河川までの距離：580m	・所有者数：60人 ・遠隔地在住の所有者数：48人 ・未相続・筆界未定・共有の土地の名義数：57人 ・地役権設定地有			

新最終処分場技術面の評価

候補地No.	地層の状態 (上段:表層部 下段:基盤岩)	盛土流用 (上段:表層部 下段:基盤岩)	湧水・表流水	微地形の変状など	総合評価	点数
75	-	-	-	-	-	-
159	○:自然勾配30°程度 ○:未風化で硬質、節理面は受け盤構造	○:砂礫、粘土混じり礫 ×:岩塊(礫)	△:0~50ℓ/min(沢底部) 伏流・浸透した地下水が沢本流へ向けて合流 流量多い	△:東側枝沢に崩壊地形あり ×:堰堤は満砂の状態、沢の上流から土砂流入の可能性あり	△:多量の湧水及び土砂の流入への対策必要	△ 1
252	×:砂分が多く透水性高い △:強風化により低固結軟岩状	△:粘土混じり砂※ ○:砂(マサ土)	△:1~10ℓ/min(谷地出口) 谷底部では主に伏流	△:下流側の幅30~40mの谷底に緩い崩積土砂が堆積 所々に小段あり(表層の流出跡)	○:谷底湿地の地盤改良の対策必要	0
276	○:主に粘性土 △:強風化により低固結軟岩状	△:粘性土※ ○:砂(マサ土)	△:5~20ℓ/min(左右水路) 谷底の水田箇所は湿地状	△:谷底は水田であり、軟質土層の層厚確認必要 △:一部にのみ崩壊地形と移動土塊あり	◎:谷底湿地の地盤改良の対策必要	1
320	-	-	-	-	-	-
323	-	-	-	-	-	-
332	○:主に粘性土 △:強風化により低固結軟岩状 礫交じり土砂状、自然勾配30~50°程度	△:粘性土※ ○:砂(マサ土) 礫交じり砂・粘土	△:0~50ℓ/min(沢底部) 谷底の水田箇所は湿地状 水田箇所以外は谷底にマサ土起源の風化物が厚く堆積し、地下水が伏流	△:谷地下流部の谷底は水田、軟質土層の層厚確認必要 △:花崗岩岩盤の風化が深部に及び砂状に崩れ易く、表流水の浸食を受け易い ×:調査地内に複数の破砕帯が想定され、破砕帯の傾斜方向は北西で流れ盤構造	△:谷底湿地の地盤改良の対策必要 花崗岩の風化が進み、また、複数の破砕帯が流れ盤構造を 形成するため、地山の強度確認が必要	0
386	-	-	-	-	-	-
392	○:粘性土、礫交じり粘土 ○:硬質、節理面は流れ盤構造	△:粘性土※ ×:岩塊(礫)	×:常時は表流水なし 浸食や岩片の堆積状況から降雨時の流量は多いと想定される	×:集水面積が小さい枝沢も浸食が進み深く掘り下げられる	×:降雨時の流量多く、上部の崩壊土層は非常に浸食を受け易い	△ 2
472	○:主に粘性土 ○:低固結軟岩	△:粘性土※ ×:砂質粘土など(金沢層)※	×:10ℓ/min(水路) 谷底の水田箇所は湿地状 集水地形で谷底の地下水量が多く、一部でため池状(地下水位高い)	△:谷底は水田であり、軟質土層の層厚確認必要 ×:調査地一体に崩壊地形が多数確認される	×:調査地一体に崩壊地形が多く、脆弱な地盤と想定	△ 2
506	○:主に粘性土 ○:低固結軟岩	△:粘性土※ ×:砂質粘土など(金沢層)※	×:20ℓ/min以上 地下水位が高く概ね湿地状	△:谷底に湿地帯が連続する 軟質土層の層厚確認必要	△:下流の勾配が緩く、排水路の勾配が取れず暗渠管の位置を 深くできない	△ 1
510	○:主に粘性土 ○:低固結軟岩	△:粘性土※ ×:砂質粘土など(金沢層)※	△:5ℓ/min(左右水路) 谷底の水田箇所は湿地状	△:谷底は水田であり、軟質土層の層厚確認必要 ○:河底に基盤岩が露出する点から、軟質土層は薄いと推定	○:施工に地盤改良必要	0
512	○:主に粘性土 ○:低固結軟岩 硬質、節理面は主に受け盤構造	△:粘性土※ ×:砂質粘土など(金沢層)※ 岩塊(礫)	△:10~20ℓ/min(水路、沢) 谷底の水田箇所は湿地状	△:谷底は水田であり、軟質土層の層厚確認必要 ○:河底に基盤岩が露出する点から、軟質土層は薄いと推定 △:一部硬質の岩盤であり掘削困難	△:一部に薄衣式礫岩の硬質岩盤が分布し、掘削が困難	△ 1
534	△:礫・岩片混じり土砂 ○:硬質、節理面は主に流れ盤構造	○:砂礫、粘土混じり礫 ×:岩塊(礫)	×:3~30ℓ/min(沢底部) 集水面積広く、降雨時の流量多い	△:流れ盤構造であり、切土勾配に注意 ×:硬質岩盤の掘削困難 ×:ため池堤体からの漏水あり、排水の処理必要	×:降雨時の湧水・表流水の増が見込まれ、岩盤掘削が困難	△ 2
536	-	-	-	-	-	-
548	△:粘性土、礫交じり土砂 ○:低固結軟岩	△:粘性土ほか※ ×:砂質粘土など(金沢層)※	△:20ℓ/min(水路) 谷底の水田箇所は湿地状	△:谷底は水田であり、軟質土層の層厚確認必要 ×:上部に位置する滝沢層は非常に浸食を受けやすい 表層の崩壊あり	△:滝沢層部分の切土勾配を緩く取る必要あり	△ 1
562	○:主に粘性土 ○:低固結軟岩	△:粘性土※ ×:砂質粘土など(金沢層)※	×:2ℓ/min(湿地部表流水) 主に湿地内を浸透 敷地外への排水量が少なく、貯留される(地下水位面高い)	△:谷底は水田であり、軟質土層の層厚確認必要 ○:崩壊は斜面表層のみ、大規模で構造的なものは認められない	△:谷底湿地の地盤改良の対策必要、地下水位面高い	△ 1
572	△:粘性土、礫交じり土砂 ○:低固結軟岩	△:粘性土ほか※ ×:砂質粘土など(金沢層)※	△:8ℓ/min(河底部表流水) ×:山地中腹からの湧水あり ため池からの水みちがある可能性あり	△:谷底は水田であり、軟質土層の層厚確認必要	△:滝沢層部分の切土勾配を緩く取る必要あり 地下水の流路に注意必要	△ 1
607	○:砂、粘性土 ○:低固結軟岩	△:砂、粘性土など※ ×:砂質粘土など(金沢層)※	×:集水面積大きく、湧水量多い 下流にため池あり	△:沢沿いの斜面は浸食を受け、急勾配で不安定 ×:周辺に崩壊地形が多く、地山の岩盤層が劣化していると判断	×:湧水多く、岩盤層の劣化から不適と評価	△ 2

※高含水比で改良が必要

評価	総合評価	分布	説明
2	☆	0	評価項目が全て○
1	◎	1	評価項目が○又は△のみ
0	○	2	評価項目の×が1個まで
△ 1	△	6	評価項目の×が2個まで
△ 2	×	4	評価項目の×が3個以上

【用語の説明】

表層部：その土地の表層  
 基盤岩：その土地の最も古い岩石  
 微地形：地形図には表現されないような地表面の微細な特徴  
 節理：岩石に表れる規則性をもった割れ目  
 マサ土：花崗岩が風化してきた砂状の土壌  
 破砕帯：断層に沿って岩石が破壊された帯状の部分  
 流れ盤：地表に露出する岩盤の傾斜が、地形の傾斜に対して同一に傾斜している状態  
 受け盤：地表に露出する岩盤の傾斜が、地形の傾斜に対して交差して傾斜している状態

新最終処分場土地利用面の評価

候補地No.	計画埋立容量 (m <sup>3</sup> )	埋立段数 (段)	点数
75	50,000	-	除外
159	180,000	4	△ 1
252	202,000	1	2
276	185,000	2	1
320	120,000	-	除外
323	210,000	3	0
332	190,000	2	1
386	140,000	-	除外
392	199,000	2	1
472	240,000	2	1
506	210,000	1	2
510	230,000	2	1
512	180,000	2	1
534	190,000	1	2
536	36,000	-	除外
548	200,000	1	2
562	182,000	5	△ 2
572	180,000	3	0
607	210,000	1	2

平均 175,000 2.1

評価	埋立段数	分布
2	1	5
1	2	6
0	3	2
△ 1	4	1
△ 2	5	1
除外	-	4

新最終処分場経済面の評価

候補地No.	造成面積 (㎡)	平均で除した数字	評価 (50%)	取付道路延長 (m)	評価 (25%)	放流先 までの距離 (m)	評価 (25%)	合計	総合評価
75			-		-		-	-	-
159	38,300	0.693	2	1,650	△ 2	90	2	1.00	1
252	71,000	1.284	△ 2	160	0	640	△ 1	△ 1.25	△ 2
276	67,000	1.212	△ 1	70	1	40	2	0.25	0
320			-		-		-	-	-
323	55,700	1.007	0	0	2	60	2	1.00	1
332	43,900	0.794	1	0	2	70	2	1.50	1
386			-		-		-	-	-
392	45,800	0.828	1	0	2	940	△ 2	0.50	0
472	61,000	1.103	0	160	0	260	1	0.25	0
506	53,900	0.975	0	0	2	480	0	0.50	0
510	65,300	1.181	△ 1	750	△ 2	490	0	△ 1.00	△ 2
512	68,700	1.242	△ 1	230	0	30	2	0.00	0
534	64,500	1.166	△ 1	0	2	980	△ 2	△ 0.50	△ 1
536			-		-		-	-	-
548	55,300	1.000	0	300	0	290	1	0.25	0
562	38,000	0.687	2	0	2	240	1	1.75	2
572	43,900	0.794	1	0	2	60	2	1.50	1
607	56,500	1.022	0	340	△ 1	580	△ 1	△ 0.50	△ 1

平均 55,300 240 350 0.35

**【用語の説明】**  
 造成面積：178,000㎡の埋立容量を確保するために必要となる面積  
 取付道路延長：候補地から2車線道路までの間に改良や新設が必要となる道路延長  
 放流先までの距離：候補地から国、県、市町村が管理する河川、又は国、県、市町村が管理する河川に接続する幅1m程度以上の水路までの距離

評価	造成面積	平均で除した数字	分布	取付道路延長	分布	放流先 までの距離	分布	内容	分布
2	～41,400	～0.75	2	なし	7	0～100	6	1.75以上	1
1	41,401～47,000	0.75～0.85	3	1～100	1	101～300	3	0.75以上1.75未満	4
0	47,001～63,500	0.85～1.15	5	101～300	4	301～500	2	0以上0.75未満	6
△ 1	63,501～69,100	1.15～1.25	4	301～500	1	501～700	2	△0.75以上0未満	2
△ 2	69,101～	1.25～	1	501～	2	701～	2	△0.75未満	2



新最終処分場土地権利面の評価

(単位:人)

候補地No.	所有者数	評価 (4割)	遠隔地在住 の所有者数	評価 (3割)	未相続・筆界 未定・共有の 土地の名義数	評価 (2割)	地役権・地上 権の有無	評価 (1割)	合計	総合評価
75		-		-		-		-	-	-
159	2	2		1		1		1	1.40	2
252	14	0		1		1		1	0.60	0
276	6	2	2	0		1		1	1.10	1
320		-		-		-		-	-	-
323	13	0	1	0		1		1	0.30	0
332	58	△ 2	2	0	51	△ 2		1	△ 1.10	△ 1
386		-		-		-		-	-	-
392	21	△ 1	1	0	10	0		1	△ 0.30	0
472	49	△ 2		1	44	△ 2		1	△ 0.80	△ 1
506	16	0	1	0	9	0		1	0.10	0
510	13	0		1	4	0		1	0.40	0
512	3	2		1		1		1	1.40	2
534	124	△ 2	1	0	115	△ 2		1	△ 1.10	△ 1
536		-		-		-		-	-	-
548	11	1	1	0	3	0		1	0.50	0
562	10	1		1		1		1	1.00	1
572	18	0	1	0	10	0		1	0.10	0
607	60	△ 2	48	△ 2	57	△ 2	地役権	0	△ 1.80	△ 2

平均 27.9 3.2 20.2 0.12

【用語の説明】

所有者数：想定される造成地の所有者数。ただし、一関市、平泉町及び施設候補地として情報提供のあった土地の所有者数は含まない。

遠隔地：おおむね、盛岡、仙台より遠い場所(自動車移動で片道2時間程度以上の距離)

未相続・筆界未定地・共有の土地：保存登記がなされていない又は境界が未定又は同一住所ではない複数の所有者の土地

※上記は全て登記簿により確認

評価	所有者数	分布	遠隔地在住 の所有者数	分布	未相続・筆界未 定・共有の土地 の名義数	分布	地役権・地上 権の有無	分布	合計	分布
2	1~6	3		0		0		0	1.3以上	2
1	7~12	2	なし	6	なし	6	なし	14	0.7以上0.3未満	2
0	13~18	5	1~4	8	~10	5	地役権	0	△0.5以上0.7未満	7
△ 1	19~24	1	5~9	0	11~20	0	地上権	1	△1.1以上△0.5未満	3
△ 2	25~	4	10~	1	21~	4		0	△1.1未満	1

評価項目説明資料(最終処分場)

評価項目	技術面の評価		土地利用面の評価		経済面の評価		土地権利面の評価		その他考慮すべき事項			
配点	2点×1.0		2点×0.5		2点×1.5		2点×1.5		2点×0.5			
10	地盤・地質の状況	長期間焼却灰等を埋め立て、埋立完了後も管理する必要のある施設のため、地盤・地質の専門業者による現況調査の結果で評価する。	埋立完了後の土地利用	焼却灰などを埋め立てる段数に応じて評価する。	敷地造成費	工事面積に応じて評価する。	所有者数	所有者数に応じて評価する。	その他考慮すべき事項	《地域における土地利用の現状》 候補地に神社仏閣があり、その土地が地域の信仰の対象となっているなどの考慮すべき事情を評価する。		
20												
30												
40												
50											遠隔地在住の所有者数	おおむね、盛岡、仙台(自動車移動で片道2時間程度の距離)より遠くを遠隔地とし、遠隔地の在住者数に応じて評価する。
60												
70												
80												
90												
100											地役権・地上権の有無	地役権・地上権の有無を評価する。
100												
除外			必要容量確保の可否	埋立容量として178,000㎡程度が確保できない場合は除外する。					その他考慮すべき事項	個別の事情により、用地造成等ができないと判断される場合は除外する。		
上記のほか考慮した項目			土地利用計画	国、県、一関市及び平泉町において特定の目的をもって土地を集積する計画について調査したが、該当はなかった。	土地の価格	各候補地は主に山林や原野などのため、山林の固定資産税評価額を確認したところ、16.50～25.00/㎡と有意な差は確認できなかった。	抵当権等の有無	抵当・根抵当・差押等の権利登記がされた土地があるが、土地取得上の支障項目として評価しない。	希少動植物生息状況	県に照会した結果、一部希少動植物の生息が確認されたことがある候補地はあったが、整備を制限される候補地はなかった。		
					維持管理費	候補地の場所に関わらず、施設自体の維持管理費には大きな差異はないことから、支障項目として評価しない。						